



発行所
株式会社ラベルバンク
大阪市淀川区西中島5-12-8
新大阪ローズビル4F
TEL: 06-6838-7090
FAX: 06-6838-7091
http://label-bank.co.jp/
support@label-bank.co.jp

第86号

今回のテーマは製造所固有記号の続きです。筆者はときどき講演をするのですが、聴講者の関心が高いつも高いテーマの1つと感じています。本日は添加物やアレルギーなどについて書きたいのですが(原材料規格書の計算や翻訳といった仕事を中心ですので...)、それはまた次回以降にしようと思います。

さて、新しい食品表示基準(新基準)のもとでは、「原則として同一製品を二以上の製造所で製造している場合」にのみ、製造所固有記号が使えることになりました。その場合、製造者と製造所所在地についての問い合わせに対しても応答する必要がありますので、今回はそれをまとめてみます。

旧基準との比較

旧基準においても、製造所固有記号を使う場合は、消費者からの問い合わせに対し製造者と製造所所在地について対応する必要性はありました。

消費者等から製造者及び製造所所在地についての問い合わせがあった場合には、すぐに回答できるような、既に届け出ている製造所固有記号を一覧にまとめ、問い合わせ窓口に備えておくなどの対応が必要です。

参照：製造所固有記号に関する手引きQ&A(消費者庁)

製造所に関する問い合わせ先の表示について

ただ、消費者からすれば「どこに問い合わせればよいのか」がいまひとつ分かりにくく、そのため事業者も備えが十分でない実情があったと思います。これに対して、新基準ではその問い合わせ先を「表示」することになりました。今回の改正のなかでは、消費者から見ると分かりやすいメリットといえると思えます。新基準に記載された規則は、以下のとおりです。

- 次に掲げるいずれかの事項を表示しなければならぬ。
 - 1. 製造所の所在地又は製造者の氏名若しくは名称の情報の提供を求められたときに回答する者の連絡先
 - 2. 製造所固有記号が表示製造所の所在地及び製造者の氏名又は名称を表示したウェブサイトのアドレス(二次元コードその他のこれに代わるものを含む)。
 - 3. 当該製品を製造している全ての製造所の所在地又は製造者の氏名若しくは名称及び製造所固有記号
- 参照：食品表示基準(20)

消費者からみる製造所固有記号

つまり消費者は、パッケージの食品表示に記載された製造所固有記号(例：+ABC)について、その付近に表示されている電話番号等から製造者と製造所所在地をすぐに知ることができます。

(固有記号1-12) 製造所の所在地等が製造所固有記号で表示されている場合、消費者は、どのようにして製造所の所在地等を把握すればよいですか。

- ① 表示
- ・食品にお客様ダイヤル等の電話番号が表示されているれば、その連絡先に問合せを行うこと

- ・食品にウェブサイトアドレスが表示されているれば、当該ウェブサイト等にアクセスして確認すること
- ・食品のパッケージに製造所の所在地等一覧が表示されているれば、パッケージに表示された製造所固有記号と照合すること

- ② 消費者庁の製造所固有記号制度届出データベースで検索する

参照：食品表示基準Q&A(固有記号1-2)

応答義務について

右記のように、製造所固有記号を使う事業者の立場としては「表示されている電話番号に製造者や製造所所在地に関する問い合わせがあれば、回答しなければならぬ」といった変化が生じるようになります。これまで表示されていたお客様相談室等の回答ではなく、別部署からの回答をしていた場合は、FAQリストを更新する必要性などが想定できるでしょう。

また「何をどこまで回答するか」についても、食品表示基準Q&Aに記載されています。

製造所固有記号を使用しない場合に表示される内容である製造所の所在地や製造者の氏名若しくは名称を回答してください

参照：食品表示基準Q&A(固有記号1-4)

具体的な表示方法

ではどのように表示すればよいのか、その具体例も食品表示基準Q&Aに記載されていますので、代表的な例をこちらにあげてみます。

名称	●●株式会社+A a
原材料名	東京都千代田区霞が関■-■-■
添加物	
内容量	
賞味期限	
保存方法	
製造者	●●株式会社+A a
お客様ダイヤル0120 (〇〇)〇〇〇〇	
当社ウェブサイトアドレス	
http://www.....	

参照：食品表示基準 Q&A (固有記号-17)

その他二次元コード(ORコード)や、固有記号別に製造者と製造所所在地を列挙する方法なども具体的に事例が記載されていますので、一度確認しておかれるとよいと思います。

製造者と製造所所在地を簡単に確認ができるようになることを、特に事業者側は気にかけていることも多いでしょう。ただそれは、「消費者が何に不安を感じて、製造者と製造所所在地を確認したいと考えるのか」、今一度考える機会でもあるのではと思います。

(川合)

参照：製造所固有記号に関する手引きQ&A(消費者庁)

http://www.caa.go.jp/foods/qa/seizusho_qa.html

食品表示基準

http://www.caa.go.jp/foods/pdf/150320_kiyun.pdf

http://www.caa.go.jp/foods/pdf/151224_qa-togo.pdf

食品表示基準Q&A

http://www.caa.go.jp/foods/pdf/151224_tuchi-togo.pdf

http://www.caa.go.jp/foods/pdf/151224_tuchi-togo.pdf



スタッフ紹介



ラベルバンクに新しいスタッフが2名加まりました！ どうぞよろしくお願いいたします。

皆様はじめまして。2016年2月に入社しました武川友美と申します。食品表示関連サービスの担当いたします。

給食会社での栄養士、食品メーカー、食品会社でお客様相談室、ならびに品質保証業務を経て、このたびご縁がありラベルバンクに入社することになりました。

食品表示の仕事がしたいと思った最初のきっかけは、お客様相談室時代にお客様から表示や栄養成分のこの問い合わせから、もっと食品のことを知ってお答えできるようにになりたいと思ったことです。

それから初めて食品表示に関わる仕事をした食品会社では、「食」がいのちを預かっていることの大切さであったり、表示の奥深さを学び、もっと勉強したいという気持ちがかさらに強くなりました。

そんな中、ラベルバンクの「基礎からわかる 新・食品表示の法律・実務ガイドブック」と出会い、食品表示に特化していることで、以前よりあこがれていたラベルバンクへご縁があり入社し、現在に至ります。

入社してからは、覚えることもたくさんありますが、皆さんのスキルの高さ、特にスピードがはやくて、ついていくのに必死な毎日です。

私のモットーである「やる気、元気、根気」で、皆様の背中をみて勉強し、1歩1歩前進したいと思っています。

そして、この食品表示の仕事を通じて、ご利用いただく方々の立場にたったサービス提供ができるよう、企業様と消費者様のお役に少しでもたればと思っております。

みなさま今後ともよろしくお願いたします。
(武川)

初めまして、今年の2月から勤務している黄怡寧(コウ)と申します。台湾出身で、日本の文化にすごく興味を持ち、3年半前に日本に来ました。

食べることが好きで、大学時代は栄養が専門で、日本にきてからもずっと食品の仕事に関わっています。今はラベルバンクで食品表示に関するサービスの担当をさせていただいております。

以前、食品表示といえば、頭に浮かんでくるのは栄養表示成分のみでした。他の食品表示に関心をもったきっかけは、日本でマクロビオティックと接してからです。食品添加物や食品原材料の産地など気になり始めました。

前職では、台湾へ輸出した商品の食品表示などの業務を担当していました。台湾でも、食品表示の偽装事件や人々の健康意識の高まりから、食品表示が重視されています。各国の表示基準の違いで困ることが多々ありましたが、今では食品表示の業務を通じて、その違いは「各国の食文化・習慣」に関わっていることが、ようやくわかってきました。また、食品表示は生産者と消費者をつなぐ架け橋だと感じるようになりました。

今回はラベルバンクにご縁を頂き、食品表示の世界をさらに深く理解できることに喜びを感じています。仕事を始めてまだ一ヶ月も経っていませんが、毎日いろいろな勉強ができ、充実感を感じています。

これからは、少しでも食品表示の世界でお役に立てる存在になれればと考えています。どうぞよろしくお願いたします。
(黄)

退職のご挨拶

あらためまして吉岡です。早いもので4年半の間、ラベルバンクで食品開発と食品表示に携わることができました。

色々な業務経験の機会を与えていただいた取引先の皆様と、そのフィードバックを与えていただいたラベルバンクに感謝をしております。

あつという間に駆け抜けた感があります。これもお客様と共にその時の課題やお悩みに寄り添って、お役立てできるように努めていたからこそと感じています。自己満足だけではなく、実際に少しでも皆様のお役に立てていましたら嬉しい限りです。

私にとって食は欠かせない要素ですので、これから実生活でも食品や、食品表示に触れていければと思います。

長年お世話になり誠に有難うございました。皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。
(吉岡)

今月の「お気に入り」言葉

人に接する時は、暖かい春の心。仕事をする時は、燃える夏の心。
考える時は、澄んだ秋の心。自分に向かう時は、厳しい冬の心。

(鮫島輝明)